

アジア・太平洋戦争と 子どもたち



... 満蒙開拓青少年義勇軍と学童疎開



講師： 関原 正裕さん

1953 年生まれ。一橋大学社会学部卒業。長年、埼玉県の県立高校で社会科の教員を務める。退職後、一橋大学の大学院で関東大震災朝鮮人虐殺問題を研究。今年 7 月にその成果をまとめた書籍を出版する。現在、さいたま教育文化研究所副所長。文教大学非常勤講師。また日朝協会埼玉県連合会会長として日本と韓国・朝鮮との友好親善の活動をしている。

日時： 8月26日(土) 10:00 ~ 12:00
(開場 9:40)

場所： 小平市福祉会館 4F 小ホール

参加費無料
直接会場へ

日常的に目にするようになってしまった戦争の映像。かつて日本も戦争をしていました。そのとき日本の子どもたちは、どのような運命に巻き込まれたのでしょうか？そして、それが現在にもつながっているとしたら…？



青梅街道駅より5分 一橋学園駅より6分

主催： 小平市女性のつどい 平和学習会
後援： 小平市・小平市教育委員会

問合せ： 平和学習会
e-mail : smyu-1315@ezweb.ne.jp
tel : 080-5425-1812(荒井)

小平市女性のつどい
平和学習会

つたえたいこと いっぱい
(37年のあゆみ)

	タイトル	氏名
1986年	原爆嫌い！(被爆者の一人として)	栗原 アイ子
1987年	引揚げ者の記録	藤原 寿子
1988年	集団疎開の体験から 戦争への歩みとわたし(年譜)	溝部 瑛子
1989年	東京大空襲の焼け跡に立ちて	辻 律子
1990年	毒ガスの研究に従事して イペリット(びらん性毒ガス)の人体実験	小野田 明
1991年	永住帰国に手をさしのべて	森 美智代
1992年	つたえたいこと いっぱい	松村 艶子
1993年	従軍看護婦として	藤森 資子
1994年	生糸の里の女たち 一秩父事件の後に残された女たち一	五十嵐 睦子
1995年	関東軍の軍医として(昭和16年5月渡満)	桑田 てる子
1996年	モンゴル・わたしのふるさと(教育大で教育を学ぶ大学院生として)	ジャルカル サイハン
1997年	戦後50年をふりかえって 私の歩いてきた道	富永 ヨシ子
1998年	学徒兵と沖縄	谷口 輝夫
1999年	私の少年時代と戦争のこと	佐倉 五雄
2000年	小平での戦争体験	金子 光子
2001年	カンボジアの子どもたちの笑顔を求めて	緒方 由美子
2002年	私が生きてきた道 生涯現役いきいき人生	室井 光子
2003年	特攻とは何だったのか? 一自殺兵器となった学徒兵の証言一	岩井 忠正
2004年	中国残留婦人のことをご存じですか	鈴木 則子
2005年	南太平洋「トラック島」に従軍して	小松 政重
2006年	私の戦争体験 台北からの引き揚げ	寿 智恵子
2007年	私の空襲体験 ~池袋~ 焼夷弾と炎の黒煙の中で	大友 和夫
2008年	私の太平洋戦争、そして戦後 一私の歩いた戦中戦後一	清水 睦
2009年	植民地での戦争体験 大連・日本の敗戦前後	進藤 文夫
2010年	インパール作戦に参加して 戦争を体験して平和と命の大切さを考える	吉野 建夫
2011年	もっと原爆を知ろう! 広島原爆の概要 原爆投下の目的は?	木佐木 輝雄
2012年	①小・中学生による詩の朗読 ②旧満州からの引き揚げ	加藤 和子
2013年	旧満州で敗戦を迎えて フロアトークショー	山邊 悠喜子
2014年	軍隊でのほんとの話 ご一緒に話しましょう	小川 善一
2015年	戦争の歴史・悲劇を知り、平和への教訓を学ぶ 華山 喜三代	常松 尚 大山 宏
2016年	平和への探求 東アジア共同体 一今も輝くバンドン精神一	河内 研一
2017年	私のイタリア学習の歩み イタリアと文化交流を実践して60年	西村 暢夫
2018年	満州からの奇跡の帰国 一戦争が生んだ悲劇 母の死と残された3姉妹一	今井 シズエ
2019年	五日市憲法 発見から50年 一山間の土蔵から「草案」発見一	新井 勝紘
2020年	<コロナで録画上映> 2018年の 満州からの奇跡の帰国	今井 シズエ
2021年	学童疎開から逃げ帰って 東京大空襲にあう	関野 清雪
2022年	1945年8月6日 広島朝 女学校の教室で原爆投下にあう	田戸 サヨ子